

薩長同盟の成立

薩摩藩と長州藩は、どちらが朝廷に影響をもつかで激しく対立した。やがて、薩摩藩は朝廷と幕府の公武合体推進を諦めて幕府と距離を置き、長州藩は高杉晋作が藩の主導権を握ると倒幕の気運を高めた。もはや両藩を分かつのは過去の禍根と利害のみであり、坂本龍馬・中岡慎太郎らの活躍で、1866年、薩長同盟が成立した。

○不可能な攘夷

●薩摩藩の方針転換

1863年7月、⁽¹⁾ _____

…1862年の⁽²⁾ _____ の報復として、イギリスが薩摩藩に起こした戦争

…戦後、薩摩藩は攘夷の不可能を理解し、イギリスと親密な関係を形成

●公武合体派の朝廷掌握

1863年8月18日、⁽³⁾ _____

…⁽⁴⁾ _____ 藩・会津藩が、公武合体派の公家と結んで朝廷の実権を奪い、

⁽⁵⁾ _____ 藩勢力と尊攘派の公家を京都から追放した事件

…⁽⁶⁾ _____ 公卿 7人が長州藩士とともに長州へ避難（七卿落ち）

◇孝明天皇は攘夷の考えが強かったものの、過激な者を嫌悪



図1 七卿落ち（左：三条実美）

●長州藩の反撃と失敗

攘夷決行の勢いは八月十八日の政変で衰えたが、挽回目的に次の動きがあった。

①1864年3月、天狗党の乱

…水戸藩の尊攘派が、幕府に攘夷を促すために筑波山で挙兵した事件

②1864年6月、池田屋事件

…要人を暗殺して、八月十八日の政変以前に戻す尊攘派の計画が露見し、

近藤勇ら新撰組が尊攘派の潜む京都の旅館を急襲した事件

◇天狗党…藩の改革反対派が、推進派の藩士を「鼻高々の者」と蔑んだことに由来

◇新撰組…京都守護職松平容保の指揮下で尊攘派制圧にあたった組織



図2 池田屋（再現）



図3 禁門の変

1864年7月、⁽⁷⁾ _____ （_____）

…①の混乱による好機と②への憤怒から、⁽⁸⁾ _____ 藩が京都に攻めのぼり、

⁽⁹⁾ _____ 藩・会津藩などと激突して敗退した事件

●攘夷不可能の見せしめ

イギリス公使オールコックは、貿易を妨げる攘夷運動を憎み、

過激な藩に一撃を加え、攘夷の不可能を日本中に知らしめようとした。

⇒オールコックは、米・蘭・仏に⁽¹⁰⁾ _____ 藩攻撃を提案した。

1864年8月、⁽¹¹⁾ _____

…英・米・蘭・仏の連合艦隊が下関の砲台を攻撃した事件

…(10) 藩の尊攘派も、艦隊に惨敗して攘夷の不可能を理解



図4 オールコック

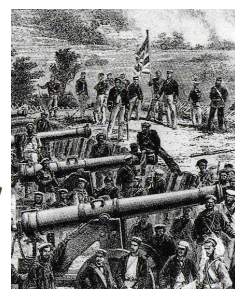


図5 砲台占領

○薩長同盟と倒幕

●第一次長州征討

1864 年 7～12 月、⁽¹²⁾ _____ (第一次)

…幕府が、⁽¹³⁾ _____ を理由に朝廷から勅命を受け、長州藩を攻めた戦い

…長州藩が降伏したため交戦なし



1864 年末、⁽¹⁴⁾ _____ が非正規軍隊⁽¹⁵⁾ _____ を率いて長州藩の主導権を奪い、藩の方針を恭順から倒幕へと転じさせた。



図 6 高杉晋作

→四国艦隊下関砲撃事件以降、(14) は攘夷を止め、むしろ倒幕のために外国へ接近した。

→大村益次郎^{ますじろう}を起用して軍制改革にあたらしめ、

また、イギリスからの武器購入を計画した。

⇒購入計画は、幕府が長州藩への輸出禁止を通告していたために難航した。



図 7 奇兵隊

◇(15) …藩の正規兵「正兵」の対語で、身分にこだわらず、有志を實力主義で募った軍隊

●フランスと幕府の接近

1864 年着任のフランス公使⁽¹⁶⁾ _____ は、幕府支持の親幕政策を展開した。

⇒1865 年、幕府はフランスの指導のもとに⁽¹⁷⁾ _____ を設立した。



図 8 ロッシュ

●イギリスと薩摩藩の接近

1865 年着任の、オールコックの後任イギリス公使⁽¹⁸⁾ _____ は、

親幕政策をとるロッシュに対抗し、幕府を見限って薩摩藩に接近した。

⇒薩摩藩では、西郷隆盛・大久保利通らが藩の主導権を握り、

藩の方針も公武合体が放棄されて徐々に倒幕へ傾きつつあった。



図 9 パークス



図 10 西郷隆盛

●条約勅許と関税引き下げ

幕府は攘夷運動を懸念し、勅許がないことを理由に通商条約の完全履行を渋っていた。

⇒1865 年、四国 (英・米・蘭・仏) の連合艦隊が、圧力をかけて通商条約の勅許を獲得し、

さらに 1866 年、幕府に⁽¹⁹⁾ _____ に調印させて関税率を引き下げた (一律 5 %へ)。

●薩摩藩と長州藩の接近

1866 年、⁽²⁰⁾ _____ (_____) の密約成立

…土佐藩⁽²¹⁾ _____ ・中岡慎太郎^{しんたろう}の仲介で薩摩藩・長州藩が結んだ軍事同盟

…仮に幕府と戦い勝利した後、両藩提携による雄藩連合政権の実現を約束

…長州藩は、薩摩藩を介したイギリスからの武器購入を実現



図 11 坂本龍馬

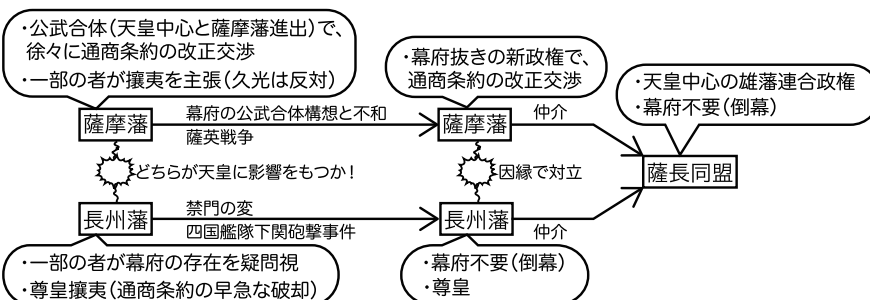


図 12 薩長同盟まで



図 13 木戸孝允



図 14 中岡慎太郎